

地域づくり計画

ケース No	取り上げた課題	重症心身障がい児などの医療的なケアが必要な方に対して、体制・仕組みの課題にもあるように、多職種の連携が出来ていない。			
	地域で掲げている目標 (計画に記載されている部分)				
	協議会で掲げる目標	福祉関係者が医療のことをもっと知る機会があっても良いのではないか。			
地域課題は何ですか		活用する/できる社会資源は どんなものがありますか	いつまでに	誰が	何をする
○多職種による連携がきちんと出来ていない。 ○医療のことを福祉関係者がもっと知る機会があると良い。		①今後医療的ケア児に対するコーディネーター配置の検討がされる ②連携の会議体 ③協議会の研修	①平成32年度 ②平成30年度 ③平成30年度実施研修の1つの案として加える	①狛江市 ②狛江市 ③協議会	①コーディネーターを配置する ②会議体を設置する ③研修を実施する

ケース No	取り上げた課題	入浴が必要な方に対するサービスが余りなく、訪問入浴の回数は少ない。また、自宅での入浴が困難な場合に、入浴をしてくれる通所施設等がない。子どもの成長に伴って、自宅での入浴が困難となってしまう。			
	地域で掲げている目標 (計画に記載されている部分)				
	協議会で掲げる目標	社会資源の整理や不足している課題の抽出を行う			
地域課題は何ですか		活用する/できる社会資源は どんなものがありますか	いつまでに	誰が	何をする
○身体障がいのある方が入浴できる資源が訪問入浴のみとなっている。 ○社会資源の情報を集積している場所を支援者が把握できていない。		介護保険制度上のデイサービスや小規模多機能型居宅介護事業所など		●狛江市 ○協議会・事業所等連絡協議会・相談支援専門員	●法の中で活用出来るかどうかを確認する。 ○市内のデイサービス等への働きかけや情報収集を行う

地域づくり計画

ケース No	取り上げた課題	年齢と共に同性介助が必要だが、事業所や人材が不足している。		
	地域で掲げている目標 (計画に記載されている部分)			
	協議会で掲げる目標	事業所間の情報共有をし、お互いの立場や境遇を知ってもらう		
地域課題は何ですか	活用する/できる社会資源は どんなものがありますか	いつまでに	誰が	何をする
障害福祉サービスの事業所や人材が不足している。(特に男性)	①狛江市障害福祉サービス事業所等連絡協議会 ②ケアマネ連絡会	早期段階	①事業所等連絡協議会の参加メンバー、協議会、事務局(市) ②ケアマネ連絡会の参加メンバー、事務局(市)	情報共有をきちんとできるような場を設定していく

ケース No	取り上げた課題	様々な問題があることを発信することが出来ていない。		
	地域で掲げている目標 (計画に記載されている部分)			
	協議会で掲げる目標	協議会について発信をし、障がい小委員会に意見を伝えていく。		
地域課題は何ですか	活用する/できる社会資源は どんなものがありますか	いつまでに	誰が	何をする
地域で様々な課題があることが当事者や関係者以外に余り知られていない	①協議会(委員含む)、傍聴者 ②市HPなどの情報媒体		①協議会事務局(市) ②協議会委員	①HPをしっかりと作り、情報発信を行う。 ②地域の課題を把握し、情報共有と発信を行う。委員の身近で起こる課題をカンファレンスで相談支援専門員にきちんと伝える